



平成25年度通常総会報告及び会長再任ご挨拶

長崎県技術士会 会長 山口和登

6月8日諫早市の諫早観光ホテル道具屋にて、平成25年度通常総会を開催し49名の会員出席（欠席者の委任状は40名）のもと無事終了しました。その後長崎大学の岡林名誉教授を講師に招いてCPD研修会を開催し、引き続き交流会を開催し盛会に終わることができました。今回は昨年同様、土曜日に開催しましたが、昨年より参加者増となりました。ご協力ありがとうございました。

総会の議事内容については参加会員各位に周知済みでありますので、ここでは不参加会員を考慮して総会の状況をご報告申し上げます。

総会開催に先立ち、昨年度ご逝去された福岡辰義氏、黒瀬正行氏に黙とうを捧げたのち議題に移りました。

1. 総会議案

第1号議案：平成24年度事業報告

原案の通り承認

24年度の主な実績は、①役員会の年6回の定例開催 ②技術士1次、2次試験支援関係 ③総会時の研修会、長崎地盤研究会の勉強会・ジオラボの後援団体として年5回の研修会、年1回の現場見学会への参加 ④機関紙の年4回発刊、会員名簿24年度版の作成（300部）会員及び関係機関に配布 ⑤会員の増強（8名の新入会員） ⑥その他犬束顧問の叙勲祝賀会開催、ながさき建設技術フェア2012の後援、NPO技術フォーラム懇話会及び長崎県測量設計業協会の技術講習会への講師派遣などです。具体的には長崎県技術士会のホームページの活動状況報告を参照してください。

第2号議案：平成24年度収支決算、会計監査報告

原案通り承認：具体的な金額等はここでは省略しますが、必要な会員には開示いたします。

第3号議案：平成25年度事業計画（案）

原案通り承認

25年度の主な計画は、①役員会の定例開催 ②日本技術士会九州本部関連会議等への出席 ③長崎県技術士会主催の研修の年2回開催、ジオラボ（長崎県技術士会後援）への年5回の勉強会参加、年1回の現場見学会参加、県技術士会主催の現場見学会の開催 ④機関紙の年4回の継続発刊、会員名簿の昨年より50部多い350部作成配布 ⑤他技術機関との連携 ⑥県技術士会の活性化、積極的な会員募集、増員等です。尚、技術士試験の願書配布等は日本技術士会のHP（電子申込）利用が多くなったため、日本技術士会の方針に基づき今年度は実施しないこととしました。

第4号議案：平成25年度収支予算（案）

原案通り承認：具体的な金額等はここでは省略しますが、必要な会員には開示いたします。

第5号議案：長崎県技術士会役員変更（案）

原案通り承認

今年度は役員改選の年であり、この為総会に先立ち長崎県技術士会会則の会長選挙要領に基づき会長への立候補者の募集を2月から4月にかけて会告しましたが、立候補者の届け出がなく役員会で私（山口）が推挙され、総会にて承認されました。

その他役員については、西村理事、桐原理事、本田監事が諸事情から退任の提案があり、川村監事の副会長就任、大橋理事の監事への変更、毎熊副会長の理事兼日本技術士会九州本部長崎地区代表幹事への交代の提案があり、承認されました。

新役員として園田直志氏、松本守氏の理事就任、清水富夫氏の監事就任を提案し承認されました。

また、今回の役員改選の目玉として長崎県技術士会会則第21条の「本会は会外役員をおくことが出来る。」との条項に基づき長崎大学名誉教授の岡林隆敏先生に顧問就任を要請し、快諾を受け、総会での承認をいただきました。

今後は岡林顧問を通じて長崎大学との連携をより深めていこうと思います。

西村氏、桐原氏には長年理事を本田氏には長年監事を務めていただき感謝申し上げます。

なお、役員構成は長崎県技術士会のホームページ及び会員名簿に掲載していますのでご参照ください。

報告事項：大橋理事（九州本部長崎地区代表幹事）より報告

公益法人日本技術士会九州本部平成 25 年度年次大会、役員会の内容報告

全国大会の平成 26 年 11 月 9 日～10 日、福岡国際会議場での開催などの報告。

各県の支部設立に関する内容、問題点、長崎県技術士会との関連等について報告があり、今後他県も見ながら協議する必要があるとの報告がありました。

また、参考までに長崎県支部設立に関する無記名のアンケート実施を行い、今後の参考とする試みも行われました。

2. CPD 研修会

演題：佐世保鎮守府におけるコンクリート技術の開発と針尾無線塔建設

講師：長崎大学名誉教授 岡林 隆敏先生

*当日講演された内容詳細については今年度の会員名簿に研修会資料として 18 ページにわたって掲載していますのでご参照ください。



写真－1 CPD 研修会状況（岡林隆敏先生 講演）



写真－2 CPD 研修会状況（岡林隆敏先生 講演）

3. 交流会

研修会終了後、ホテル内の別室で交流会を開催しました。新入会員 4 名、岡林先生を含む 49 名が参加し、新入会員の自己紹介や退任役員、新任役員の挨拶、そして会員相互の情報交換など楽しい交流会となりました。



写真一3 交流会 (岡林隆敏先生 顧問就任挨拶)

以上総会報告を行いました。以下会長再任の御挨拶を行います。

事業計画の中でも述べていますが、長崎県技術士会会員の更なる倫理の啓発、資質の向上、品位の保持に努め、長崎県技術士会の発展、知名度向上のための施策として最近流行りの 3 本の矢で述べますと、

1 本目は CPD 活動の拡充です。具体的には長崎大学とのこれまで以上の連携を図り、CPD の機会の増加を図ります。この為、今年度からは本会の顧問として岡林先生に就任していただきましたが、大いに先生を活用させてもらうように努力活動をいたします。

2 本目は広報活動の拡充です。本会の機関紙である APREN の年 4 回の配信は当然のこと、内容の充実や編集の工夫などに努めます。また、会員名簿に関しても今年度から名簿の掲載方法の工夫や単なる名簿機能だけでなく、技術士試験制度の最新情報掲載や、今まで配信してきた過去 1 年間の機関紙の掲載、研修会の資料(論文等)の掲載など会員名簿の充実を図ります。また、発行部数も昨年度は 300 部、今年度は 350 部と徐々に増やしていきます。

3 本目はホームページ (HP) の管理運営です。HP は会員のみならず誰でも閲覧できるようにしています。また、機関紙等と異なり、リアルタイムに情報の発信をしていきます。

HP は技術士への理解普及の広報のほか、活動報告や前に述べた機関紙の掲載、役員会の議事録掲載など定期更新していきます。また、連絡事項として長崎県技術士会事務局からのお知らせ、日本技術士会九州本部からのお知らせ、長崎県や長崎大学からのお知らせ等は適時掲載し、会員への広報など会員サービスに努めます。昨年度は入会申込書の掲載など行いましたが、今年度も HP の内容についても検討していきます。

以上、3 本の矢について述べましたが、さらに 4 本目の矢についても大いに検討していきたいと思えます。このことにより、技術士制度の理解と技術士の知名度・地位向上、活用促進、そして会員増加を図り、地域の発展と活性化に資する会へと発展させるよう努力いたしますので、会員各位のご協力、ご理解、ご指導をお願いいたしまして会長再任のご挨拶といたします。

NERC を活かして 犬東 洋志 (建設)

最近、わが県の技術レベルを考えたことがおありだろうか。

「技術者の心の拠りどころ」を目的として NERC の設立に加担した一人として考えを記してみたい。

私たち技術士は問題解決のために相談を受けることを生業としている。受けた技術者自身が Computer の画面と睨めっこで現場に行かないと良く言われている。我らの現場は同じものは 2 つとない。考える本人こそが現場を熟知していなければならない。このことは言わずもがなである。

更に、今後の我が国の最大の危機は人口減ではなかるうか。生産年齢者が半分になって、一対一で高齢者を見なくて

はならなくなる。もう遅いかもしれないが国に頼らず自らその役目を担うことを今から真剣に考えておかななくてはならない。

加えて水とエネルギーをどうするのか、勿論資金不足を根拠としているがこれらを開発維持することの困難さを理由に云っている。そこで、NERC を中心にして技術力を高め広げることと考えられないかと、そのために何をどうなすべきなのかを提案頂きたい。

人に問う前に私の考えを述べておきたい。先ず各人が世間話をする折にNERC という言葉を会話の中で使ってほしい。「そんなもの知らない」と言われて会話が途切れてもそれだけで効果ありだと思う。さらに進むと、異分野との交流が発生する、異なる分野の方の考えを聞くことは重要なことと思う。

自らのレベルアップは自らが成すべきと考えている。昨今の傾向とすれば直ぐに研修会と提案を受けそうだがこの情報過多の時代独自に勉強できること間違いない。

我が国の技術を発展させたのは官僚だと良くいわれる。その昔本県は中央における評価は高かった。それを取り戻す目的と各方面の技術者が時を選ばずフランクに交流できる場、それがNERC と成りえないだろうか。

最後に、現時点で最も欠けていることは、熟練技術者の不足や過当競争による経済性の追求のために現場管理が疎かになってはいないだろうか、最悪の場合には施工中の事故が起こる。起こってからでは数倍の負担が必要となり最悪の事態として責任者の処分となる。技術者としては悲しい結末ではないのだろうか。

このことのベースにあるのは「基本的な試験研究」が欠落していることなのだと思う。このことの向上は資源を持たない我が国が世界で活躍するためには不可欠なことである事からもいえるからである。

新潟県の「大河津分水可動堰」を構築し、付近を毎年起こっていた水害から守り美しい稲作を可能とした「宮本武之助」の顕彰碑が愛媛県松山市沖の興居島にある。これを建立した方々には敬意を表したいが、一度新潟の現場に行くことを企画したことがあるが遠隔の地であることから実現できなかった。

今回再び現場にそして松山を含めて行ってみたいものだと希望を記してこの文を閉じることとしたい。

公益社団法人日本技術士会関連（長崎地区代表幹事退任に当たってのお礼）

大橋 義美（建設・総監）

長崎地区代表幹事として12年程務めてきましたが、6月8日の総会をもちまして退任することになりました。新代表幹事には毎熊元様（総監・農業部門）が就任されました。

この間、会員皆様のご指導ご協力を頂き無事退任出来ることに対し感謝申し上げます。

日本技術士会では会員の増強、技術士制度の普及、社会への貢献等の課題がいわれています。

一方長崎地区に於いては公益社団法人化に伴い、現在の長崎地区組織を長崎支部組織として設立することを九州本部長より急ぐように言われております。

設立については役員の皆様とも相談しておりますが、私の任期中に設立へ向けての発議が出来ず新役員の方に引き継ぐ形となり誠に申し訳なく思っております。

長崎県では、県内の技術士の多くの方々が長崎県技術士会に入会されており会員も約150名となり非常に活発に活動されています。

一方で長崎地区組織の場合は、公益社団法人日本技術士会正会員約80名中の有志による長崎支部の設立となります。これについては私の広報不足もあり、皆様には設立の目的が判りにくい等、色々なご意見があることも事実です。このため、今後更に詰め方針を決めて行く必要があります。支部が設立されても長崎県下の技術士会の活動主体は長崎県技術士会と考えています。

ところで、任期中では、平成23年10月に長崎で開催された「第17回西日本技術士研究・業績発表年次大会」他各行事に於いても皆様のご協力を頂き無事終わることが出来感謝しております。

任期中はこれといったことも出来ず恐縮に思っていますが、今は肩の荷が下りほっとしています。

これからは、いづらかでも会のお役に立てればと思っています。

最後になりましたが、毎熊代表幹事のもと会の更なる発展と皆様お一人お一人のご健勝をご祈念いたします。今までの皆様のご指導、ご支援、ご協力に改めてお礼を申し上げながら筆をおきます。

新役員の役割分担について

平成25年6月27日臨時役員会において、新役員の役割分担が次のように決定されましたので、お知らせ致します。

平成25・26年度		部門	役割分担	備考
顧問	犬束洋志	建設	会務への助言・指導	
顧問	岡林隆敏	(長崎大学名誉教授・工学博士)	会務への助言・指導	長崎大学との連絡
会長	山口和登	応用理学	会務全般・会計管理	本部地区幹事
副会長	川村昭宣	建設・総監	会長の会務の補佐	
理事	毎熊 元	農業・総監	長崎県・本部との連絡・調整	本部地区代表幹事
理事	松永光司	建設・総監	長崎県との連絡・調整	防災担当
理事	清水正明	建設・上下水道・総監	長崎県との連絡・調整	
理事	久原俊之	水産	長崎市との連絡・調整	
理事	松尾 稔	電気電子	産業系会員との連絡調整	
理事	園田直志	建設	会報編集・CPD 担当	
理事	松本 守	建設・水産	会員との連絡・調整、会報編集	
監事	大橋義美	建設・総監	会計監査、代表幹事補佐	本部地区幹事
監事	清水富夫	機械	会計監査、産業系会員との連絡調整	

日本技術士会九州本部役員		役割分担	備考
代表幹事	毎熊 元	農業・総監	本部との連絡調整
地区幹事	山口和登	応用理学	総務・会計
地区幹事	大橋義美	建設・総監	代表幹事補佐・助言・指導
地区幹事	山口昭光	農業	広報

機関紙発行担当者より

会費納入のお願い

会員の皆様には日頃より当会の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。当会の運営は支部からの助成金のほか、皆様の年会費（正会員 3,000 円、準会員 1,000 円）等で運営されています。

会費の振込先は以下の通りです。会費納入について何卒ご協力の程、宜しくお願い致します。

<振込先 1 郵便局>

郵便局の振替口座 口座記号番号 01790-6-71680

口座名称（加入者名） 長崎県技術士会（ナガサキケンギジュツシカイ）

※赤色の振込用紙を使用すると手数料は無料（技術士会負担）となります。

※後日 会報送付の際、会費未納の会員には赤色の振込用紙を同封予定です。

また次の、十八銀行の口座も使用可能です。

<振込先 2 銀行>

十八銀行 桜町支店 普通預金 NO. 024599

長崎県技術士会 代表幹事 大橋 義美

<住 所> 〒852-8064 長崎市北陽町 39-21

TEL : 095-865-5200

会費納入等についてのお問い合わせは園田、松本または、山口和登（長崎地研；TEL:0956-46-1005）までお願いいたします。

- | | |
|---|---|
| ☆ 園田 直志 | ◇ 松本 守 |
| ☆ N.ソノダ技術士事務所 | ◇ (有) 創拓エンジニアリング |
| ☆ 〒852-8021 | ◇ 〒852-8041 |
| ☆ 長崎市城山町 2-4 | ◇ 長崎市清水町 2 番 4 号 FGEX 長崎ビル 3F |
| ☆ TEL 080-3226-7200 | ◇ TEL 095-849-1781 |
| ☆ FAX 095-861-8279 | ◇ FAX 095-849-1749 |
| ☆ Email: sonoda_naoshi@icloud.com | ◇ Email: so_matu@d2.dion.ne.jp |